

## 第66回価格.comリサーチ『iPhone5』に関する調査結果

「iPhone5」の所有率、発売1カ月ですでに10%を超える  
 満足している点は「処理速度」がトップ、次いで「デザイン」「サイズ」「LTE」  
 iPhoneユーザーの約半数が、「iPhone5」への乗り換えを検討中  
 今後のiPhoneに期待することは、「バッテリー容量の拡大」がトップ

株式会社カクコムが運営する購買支援サイト「価格.com( <http://kakaku.com/> )」で、話題の新製品「iPhone5」に関するアンケートを行ないました。調査結果を一部抜粋の上、ご案内します。  
 結果ページURL : <http://kakaku.com/article/keitai/iphone5/enquete.html>

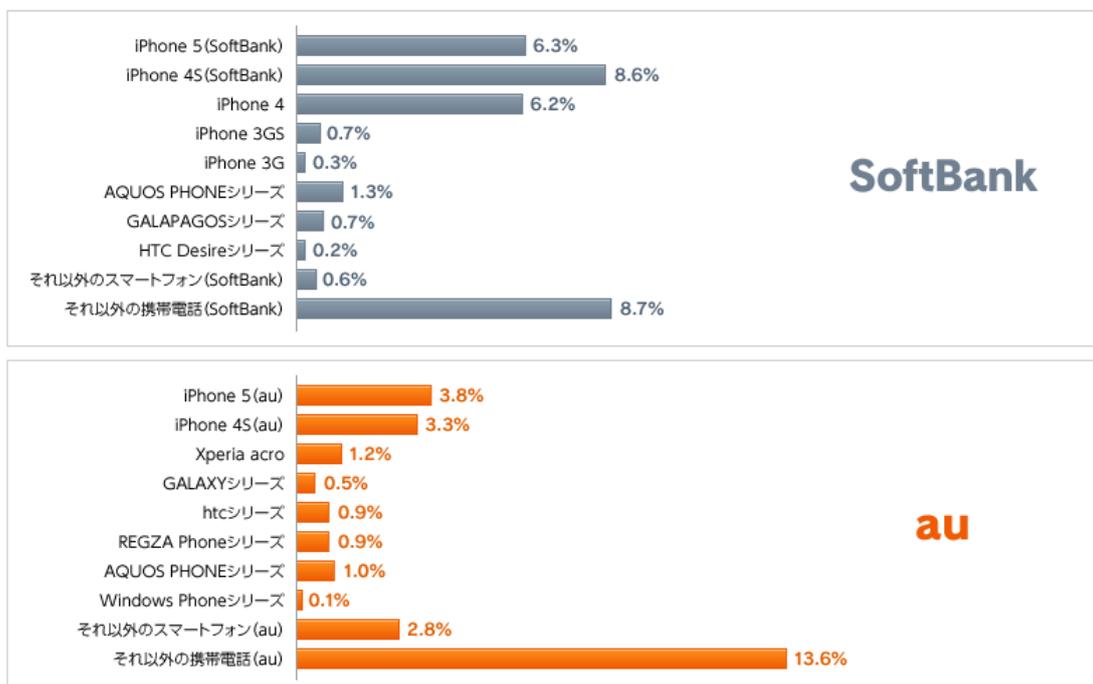
## 「iPhone5」の所有率：すでに10%を超える（10月15日時点）

回答者が使っている携帯電話を聞いたところ、全通信キャリアの製品の中で、単一機種としてもっとも多く使われているのは、SoftBankの「iPhone 4S」(8.6%)だった。SoftBankの「iPhone 5」もこれに次ぐ6.3%となっており、同じくSoftBankの「iPhone 4」(6.2%)と合わせると、この3モデルだけで21.1%にのぼる。かなり多くのユーザーがSoftBankの「iPhone」シリーズを使っていることがわかる。

なお、昨年から発売が開始されたauの「iPhone」に関しては、新モデルの「iPhone 5」(3.8%)が、「iPhone 4S」を0.5ポイント上回っている。iPhoneユーザー数はSoftBankの3分の1程度だが、「iPhone 5」だけで見ると、SoftBankとの差は2.5ポイント差のみと確実に縮まってきている。

SoftBankとauを合わせた「iPhone 5」の全利用者は10.1%（2012年10月15日現在）。発売から1か月弱の製品としては、異例となる高所有率といえるだろう。

【図1. 利用中の携帯電話機種（SoftBank、auを抜粋）】



## 「iPhone 5」を購入した理由：多くが「iPhone」ブランドに惹かれ購入を決定

「iPhone 5」の利用者に、「iPhone 5」を購入した理由を聞いたところもっとも多かったのは「発売されるのを待っていたから」（18.2%）。続いて「メーカー・ブランドが好きだから」（11.2%）、「端末のデザインが格好いいから」（9.3%）と続く。「iPhone 5」の購入者は、初めから「iPhone」を購入すると決めていたケースが多いことがわかる。また、デザインを含む「iPhone」あるいは「アップル」ブランドが好きだからという理由も多く、細かい性能面のメリットよりも、その多くは「iPhone」というブランド力に惹かれての購入であるといえる。

### ■「iPhone5 を購入した理由」グラフはこちら

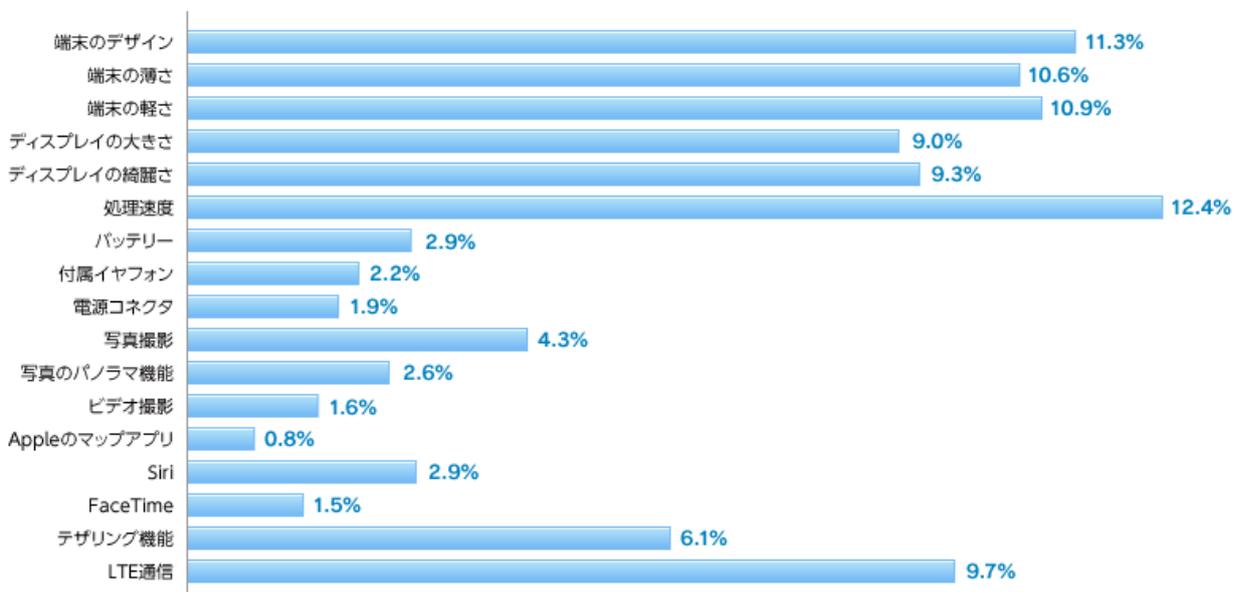
<http://kakaku.com/article/keitai/iphone5/enquete.html>

## 「iPhone 5」の満足な点：「処理速度」と「サイズ・デザイン」「LTE」など。「マップ」「FaceTime」「ビデオ撮影」は満足度低めの結果に

機能別の満足度でもっとも高かったのは「処理速度」で12.4%。「iPhone 5」の処理速度が「iPhone 4S」に比べ2倍に引き上げられレスポンスが非常に軽快になった点を、多くのユーザーが実感しているということだろう。続いて、端末のサイズや重量、デザイン、ディスプレイ、LTEなどに対する満足度が高い。

逆に満足度が低かったのは、「マップアプリ」、「FaceTime」、「ビデオ撮影」など。特に、独自の「マップアプリ」は不具合が多く満足度はいたって低い。アップルも最重要事項として改良に取り組んでいくと発表しているが、2012年末くらいまでは少なくともこの状況が続くそうと考えられている。なお、「FaceTime」や「ビデオ撮影」に関しては、特に機能的な問題はないようだが、実際にあまり使われていないことが、満足度を低めにしていると考えられる。

【図2. iPhone5の機能別満足度】



## SoftBankは機種変更者が多数。auは、MNPを使ったキャリア変更も目立つ

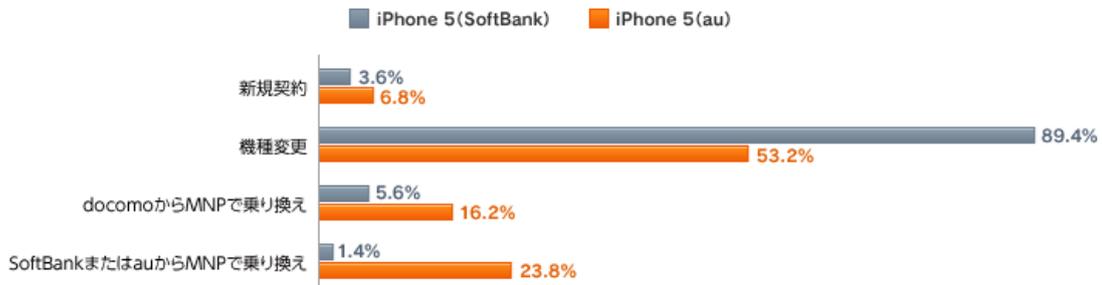
「iPhone 5」購入時の手続き方法を聞いたところ、SoftBank ユーザーのうち9割近くが「機種変更」で、従来の「iPhone」からの乗り換え組が圧倒的に多いことがわかる。

SoftBankを選んだ理由としては、「現在契約しているから」が断然多く、これまで使ってきた通信キャリアを変えたくないという人が多いようだ。また、「機種変更のお得なキャンペーンを実施していたから」や、「料金プランが安いから」も比較的多く、機種変更時の「下取りキャンペーン」や、各種料金割引などが、従来のiPhoneユーザーに対して効果的に働いたこともうかがえる。

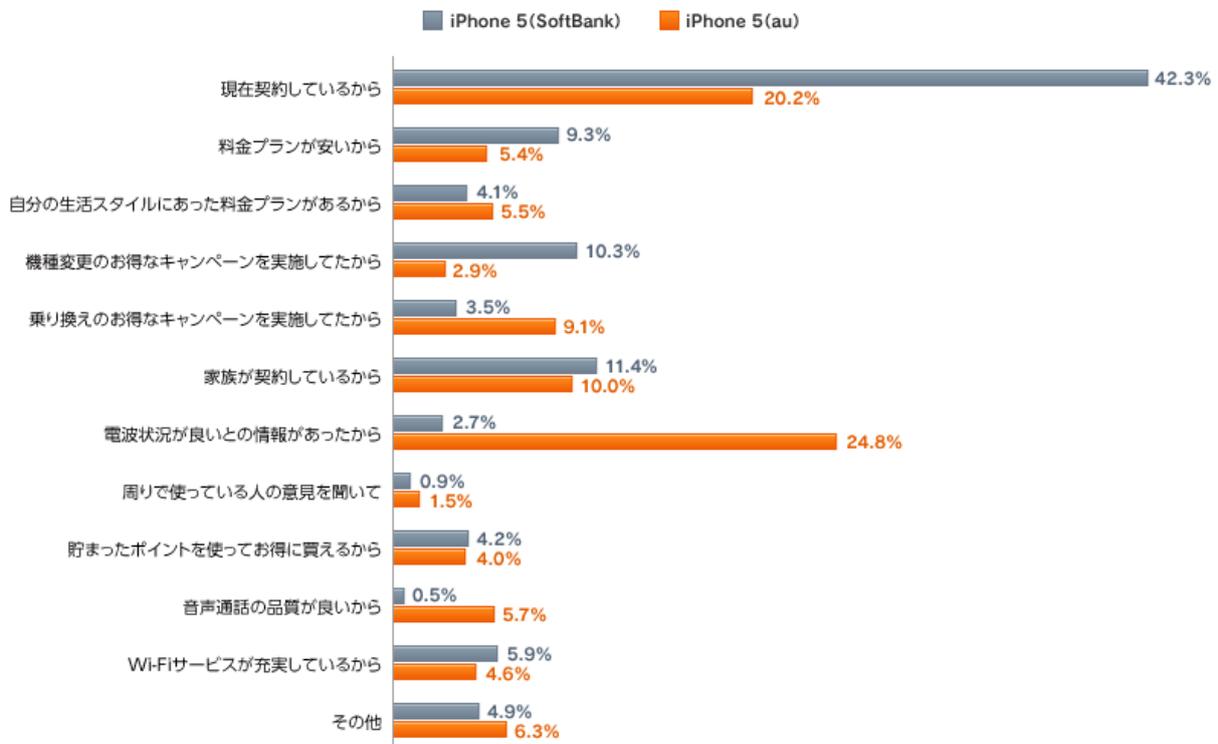
いっぽうのauは「機種変更」が半数以上にのぼる。ただし、MNP（番号持ち運び制度）で他のキャリ

アから乗り換えてきたというユーザーも比較的多いのがauの特徴だ。auを選んだ理由としては「電波状況が良いとの情報があったから」という回答が非常に多く、特に、LTE回線に関する期待値の高さから、auを選んだという人が多いようだ。

【図 3. iPhone5 購入時の手続き方法】



【図 4. iPhone5 で契約した通信キャリアを選んだ理由（すでに購入済のユーザー）】

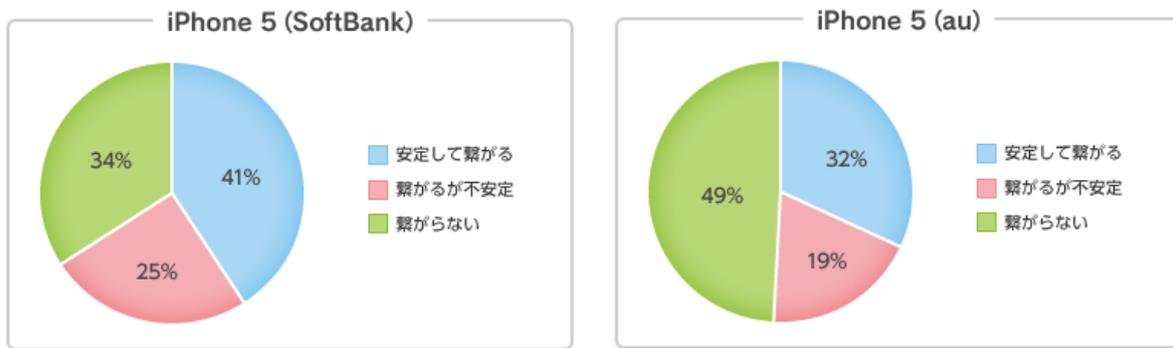


### iPhone5 を所有しているSoftBankユーザーの 41%、auユーザーの 32%が「LTE」へ安定してつなげると回答

「iPhone 5」から対応が始まった次世代高速通信規格「LTE」。SoftBank、auの各「iPhone5」ユーザーに、自宅でのどの程度つながるかを聞いたところ、現状においては、SoftBankのほうがLTEに安定してつながると回答が多い結果となった。

ただし「LTE」については、SoftBank、auとも、これからインフラを拡充していく段階で、現状ですべてを判断するのは性急であろう。どちらの通信キャリアもLTEの帯域・エリアに関しては、今後ますます拡大していくことになっており、期待ができる状況である。

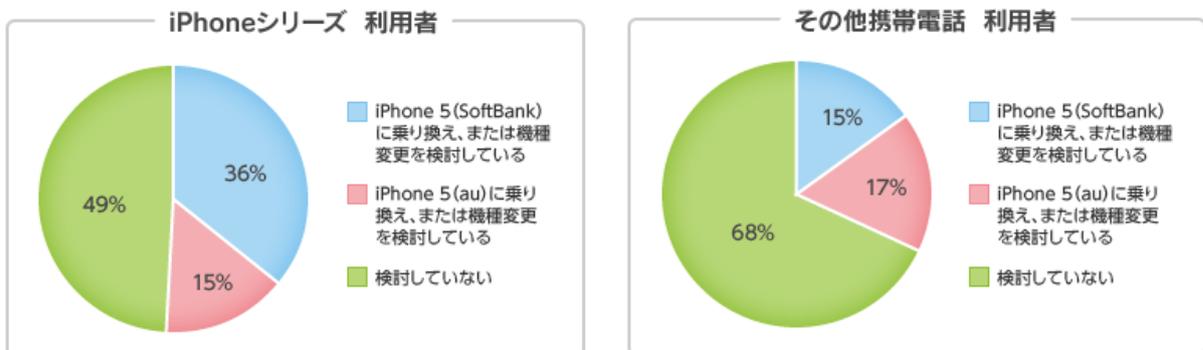
【図 5. iPhone5 ユーザーに聞いた、「LTE」への自宅での接続状況】



### 非所有者のiPhone5 購入意向：iPhoneユーザーの約半数が、乗り換え検討中

「iPhone 5」を持っていない回答者に、「iPhone 5」の今後の購入意向を聞いた。結果、「iPhone 5 以外のiPhoneシリーズ」のユーザーのほぼ半数が、「iPhone 5」への乗り換え・機種変更を検討しているという結果になった。一度iPhoneを使ったユーザーは、次もまたiPhoneにするという、強力なブランドが形成されていると見ることができるだろう。次に、iPhone以外の携帯電話・スマートフォンユーザーのほうに目を向けると、こちらは全体の68%が「iPhone 5」の購入を検討していないという結果になった。これについては、「iPhone 5」の取り扱いを行っていないNTTドコモのユーザーが比較的多いことが影響しているものと考えていいだろう。

【図 6. iPhone5 非所有者の今後の購入意向】



### 購入検討者が期待している点と、所有者が満足している点は、ほぼ一致。購入後に「期待外れ」となる不安は小さい

「iPhone 5」ユーザー、「iPhone 5」以外のiPhoneを使っているユーザー、iPhone以外の携帯電話・スマートフォンユーザーの三者で、「iPhone 5」への興味や満足度にどのような違いがあるかを調べた。「iPhone 5」ユーザーの満足度は【図 2】で見たとおりだが、「iPhone 5」以外のiPhoneユーザーについては、「処理速度」「LTE」「テザリング機能」に関する関心が高めだ。また、携帯電話・スマートフォンユーザーについても、やはり「処理速度」「端末のデザイン」「ディスプレイの綺麗さ」などについても関心は高めだ。また、「LTE」や「テザリング」についても、比較的関心が高い。全体的に見て、購入検討者が興味を抱いている点と、現在「iPhone 5」を使っているユーザーが満足している点はほぼ一致している。このことから、購入検討者が期待している点においては、購入後に期待を裏切られることはあまりなさそうだ。

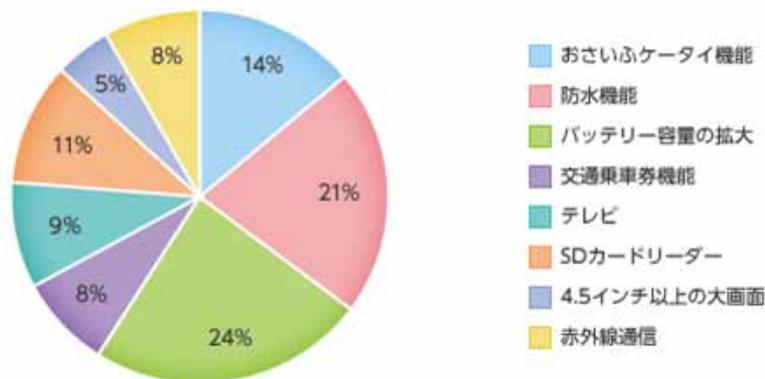
■ 「iPhone5 で興味がある点、満足な点」グラフはこちら  
<http://kakaku.com/article/keitai/iphone5/enquete.html>

## 今後のiPhoneシリーズに期待すること：トップは「バッテリー容量の拡大」。 「防水機能」や「おさいふケータイ機能」などの要望も高め

回答者全員に、今後のiPhoneシリーズに期待する機能、サービスを聞いた。最多は「バッテリー容量の拡大」だが、iPhoneシリーズに限らず、スマートフォンでは必ず要望点の上位として挙がってくるもので、想定内の結果ともいえる。ただ、群を抜いて割合が高いわけではないので、「iPhone 5」のバッテリー性能がそれほど悪くないことを示しているとも捉えられるだろう。ただし、「LTE」や「テザリング」など新たな通信技術は、これまで以上にバッテリーを消費する要素となるため、本来はそれほど悪くないバッテリー性能も、やや不安に思われるのは致し方ないと考えられる。

その他、意外に高かったのは、「防水機能」、「おさいふケータイ機能」、「SDカードリーダー」など。これらについては、Androidスマートフォンでほとんどのモデルが対応しているだけに、iPhoneシリーズのデメリットともなっている。日本国内のユーザーからは、いわゆる「ガラケー機能」がある程度求められているが、グローバルモデルであるiPhoneシリーズがどこまでその要望を取り込むかは、今後の課題といえるだろう。

【図 7. 今後のiPhoneシリーズに期待する機能】



## テザリング：9割近くの人が「利用したことがない」

回答者全員に「テザリング」の利用経験を聞いたところ、87%が「利用したことがない」と回答した。「利用している」と回答したのは、全体のわずか9%で、テザリング自体がまだそれほどメジャーな存在ではないことがわかる。

## テザリング利用者のデータ通信量：「7GB以下」が約9割。 「iPhone 5」でも定額料金でテザリングを十分活用可能であることが明らかに

テザリングを利用していると回答したユーザーに、テザリングを使ったデータ通信で用いる月々のパケット量（データ通信量）を聞いた。結果としては、月々3GB以下のパケット量で収まっているユーザーが全体の57.7%と大半を占め、月々7GB以下にまで範囲を広げると、全体の9割近い86.0%がこの範囲に収まっている。逆に、月々10GB以上のパケット量を使っているユーザーは10.4%で、全体の1割程度にとどまった。

「iPhone 5」のテザリングは、SoftBank、auとも、パケット量が定額料金で利用できる7GBを超えると超過料金が加算されるわけだが、この結果では月々のパケット量が7GB以下で収まっているユーザーがほとんどで、普通の使い方であれば、定額料金の範囲内で十分テザリングを利用できることがうかがえる。

■テザリング利用経験、テザリング利用者のデータ通信量に関するグラフはこちら

<http://kakaku.com/article/keitai/iphone5/enquete.html>

## 総評：鎌田剛 カカクコム メディアクリエイティブ部 部長

今回の調査でまず驚いたのは、発売から1か月弱にしてすでに「iPhone 5」ユーザーが1割近くにのぼっていたことだ。実際に使っているユーザーの満足度も高く、特に、ボディやデザイン、ディスプレイ、LTE などの満足度が高い結果となった。このような「iPhone 5」で進化した機能については、今後の購入を検討中であるユーザーの期待値も高く、購入後も期待外れに終わることはほぼないと言っているだろう。

通信キャリア別では、そもそも iPhone ユーザーが多い SoftBank のほうが、au よりも「iPhone 5」のユーザーが多い。また SoftBank ユーザーは機種変更がほとんどであるのに対し、au は他キャリアからの MNP 流入も比較的多いのが特徴だ。SoftBank ユーザーは、主に iPhone の利用歴が長く、キャリアを変えたくないという人が多いのに加え、「下取りキャンペーン」などによって、乗り換え時の金額負担が少なく済むことも、機種変更が進んでいる大きな理由だ。いっぽう au は、「LTE を中心として電波状況が良さそう」などの理由で、MNP などを使って乗り換えてくる人が多いようだ。しかし実際の LTE 接続状況を聞くと、実は SoftBank のほうが現状では若干有利という結果も出ている。ただし、今後、両キャリアとも LTE の帯域、エリアとも大幅に拡大する予定となっているので、LTE の通信状況に関しては、両キャリアであまり差はなく十分に期待できると言えるだろう。

なお、「iPhone 5」のもうひとつの新機能として期待されている「テザリング」について、これまで iPhone 以外の端末でテザリング利用経験があるユーザーに聞いたところ、月々のパケット量が 7GB 以下で収まっている人が 9 割近くを占めた。「iPhone 5」のテザリングについては、SoftBank、au とも、データ通信量が 7GB 以下に収まれば、キャンペーンもあって定額料金のみで利用できるが、データ量制限についてはそれほど心配しなくてもよさそう。ただし、バッテリー消費量は確実に増えるので、その点はきちんと考えて対応する必要があるだろう。

全体的に見て「iPhone 5」は、現在購入を検討している人の期待値も高く、実際に乗り換えたユーザーの満足度も高いため、出足としてはすこぶる好調といえる。SoftBank と au という 2 つの通信キャリア間でも、今回の「iPhone 5」に関しては、できることに違いがほとんどなくなっており、注目の「LTE」に関しても、両キャリアとも現状ほとんど差はない。どちらのキャリアを選んでも不満に思うことはあまりなく、安心して乗り換えられる状況と言っているだろう。

### 【調査パネル】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー  
調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査  
回答者数：7,131 人 男女比率：男性 91.5%、女性 8.5%  
調査期間：2012 年 10 月 4 日～2012 年 10 月 15 日  
調査実施機関：株式会社カカクコム

### 【価格.com サイトデータ】(2012 年 9 月末現在)

月間利用者数 3,529 万人、月間ページビュー 8 億 8,328 万 PV、累計クチコミ件数約 1,500 万件。  
<利用者内訳> PC：2,701 万人 スマートフォン：679 万人 フィーチャーフォン：149 万人

### 【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社カカクコム 広報室 内山・石橋・甲斐  
e-mail: [pr@kakaku.com](mailto:pr@kakaku.com) Tel: 03-5725-4554

### データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

#### クレジット表示例

- ・「価格.com リサーチ」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…